

10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42

大熊及海坊主退治
去月十日拓木縣下ノ自由士教名益大なる
運あつたの令を催きたる
をさき小苗日ハハ
かおと者著る者あり
又さう民隊と稱して
やぶれこの加さともい
たけやれとてさく切
わくと押立或は池兵衛
を打ち滅せしめ共々
かみ居るにさやうの
おちして東面南共ありて
あつたりとさく竹等
遊うたり長々五万余の衆
海を引来り者あり又本
二万余の強淵家の大熊
を引来り者ありてさく
りやとてさくいのむ
を布あつた後不あつた至り壯士
彼の大熊白い毛を罪
状を具して西へていせ
由の血まらつせんとあ
れしし竹やりて刺
きあり我ハ水右虎一刃
あつたりはさきり
小ついの海坊主とせし
一片の煙をさくりさく
一とさくさくさく
右と去月十六日新
きと団小あり八す
あり



御届明治十六年 月 日

自由隊

出野川寺
技術町墓地

大熊及海坊主退治 于5-4174
早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library